

令和6年4月8日

保護者の皆様

千早赤阪村立中学校
校長 近藤 和浩

通行規制への対応（府道富田林五条線・中津原寺元線）について

陽春の候 保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育推進のため、何かとご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記、府道富田林五条線の千早赤阪村東阪～千早区間と府道中津原寺元線は、連続降雨量が150mm以上になると通行止めになります（6時間以上降雨がなければリセット）。

通行止めになる頻度は数年に1回程度ですが、最近の気象状況から対応をお知らせする必要があると判断いたしました。

つきましては、通行止めのため生徒が登校できない場合について、下記のように対応いたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

なお、実際に下記の様になった場合は、学校メールおよび本校HPにてお知らせします。

記

I 登校前に警報は解除されたが、連続雨量は150mmを超え通行止めになった場合

- ① 午前7時00分において、150mmの通行止めの連絡があった場合

警報発令時と同じ対応をする。

メール配信等を利用し、全家庭に連絡をする。

全生徒自宅待機（登校した生徒がいる場合は学校待機・家庭へ連絡）

- ② 通行止めが解除され、安全が確認できた時点で登校する。

メール配信等を利用し、全家庭に登校再開の連絡をする。通学路の安全に十分注意して、登校させてください。

小吹台からのスクールバスは、安全確認・メール配信から約30分後に出発します

- ③ 午前9時00分現在（9時00分ちょうどに解除された場合も含む）通行止めが解除されない場合は、臨時休校とする。（電話連絡はせず、ホームページ等で周知する。）

II 登校後に連続雨量が150mmを超え、通行止めになった場合（警報は発令されていない場合）

- ① 通常通り授業を行う

通行止めになった時点で、全家庭にメール配信をする。

通学路の状況を考慮し、学校待機または、安全確認ができ次第、速やかに下校させます。

気象予報等の情報から、150mmを超えると予想できる場合も、全家庭にメール配信をします。

※警報発令時の対応は本日配付しました「警報（特別警報を含む）発令時の生徒の安全対策について」を

ご確認ください。（HPにも掲載します。）